

“らしさ”に迫る音楽的アイデンティティ

——歌詞に見るサザンオールスターズの世界観——

本研究はサザンオールスターズの歌詞分析を通して、音楽的アイデンティティ、すなわち「サザンらしさ」がどのように形成され、今もなお国民から支持を得続けている理由を明らかにすることを目的とする。まず、バンドの歴史やジャンル、音楽性の変化を整理したうえでデビューから10年ごとに売上枚数上位3曲を選定し、歌詞の分析を行った。分析では、頻出単語やその関連性に着目し、表現やテーマの傾向を探った。その結果、「涙」「泣く」といった感情表現が多く見られ、サザンオールスターズの象徴である「夏」は、明るさだけでなく切なさを伴う感情の舞台として描かれていることが明らかになった。また、海外の音楽から影響を受けて育った桑田佳祐の音楽性は、日本人としての感性に正直であり続けながら、時代に応じて変化してきた。

サザンオールスターズが現在も第一線で活躍し続ける背景には、変化の中でも失われないう唯一無二の音楽的アイデンティティが存在していると考えられる。